

朝日新聞（2014年7月23日）朝刊「教育」欄において、「予算10兆円増 大学無償化／下村文科相が構想発表」と題して、「2030年までに公的教育予算を10兆円増やし、高等教育も無償化——。下村博文文部科学相が近著で、そんな構想を発表した。教育予算を他の先進国並みにする『教育立国』を唱えている。思い描く未来の日本のすがたはどんなものか。財源はどうするのか。」と報じた。

詳細は、下記 URL を参照のこと。

<http://digital.asahi.com/articles/ASG7D05N1G7CUTIL066.html>

近著とは、下村博文著『9歳で突然父を亡くし新聞配達少年から文科大臣に——教育を変える挑戦』（海竜社、2014年6月）のこと。なお、朝日新聞の記事には、国際人権A規約13条の中等・高等教育における「無償教育の漸進的導入」に係る2012年留保撤回への言及はない。

（文責：渡部昭男）